

キーワード

効果的な除排雪

除排雪の課題克服に向け
雪に負けないサツポロづくり本部が発足
より満足度の高い雪対策を検討します

年間六日もの雪が降る札幌。厳しい財政状況の中、精一杯の雪対策を行っていますが、市民の皆さんから要望や苦情が多数寄せられているのが現状です。

そこで、除排雪のさまざまな課題克服を目指すプロジェクト「雪に負けないサツポロづくり本部」を四月に設置。加藤副市長を本部長、関係局長や各区長をメンバーとし、全庁を挙げて雪対策に取り組みます。

対策本部では、市民の皆さんや除排雪を担う企業と連携し、地域の実情に応じた除排雪を目指すほか、高齢者の負担軽減策や雪堆積場の確保など



第1回会議で「雪対策の市民満足度をあげる検討を!」と指示する上田市長

除雪についての市民意見

もっと力を入れてほしい施策

第1位 (28年連続)

平成17年度市政世論調査結果



より地域に密着した除排雪へ

市と地域住民が協議して、現状やルールなどについて理解を深め、地域ニーズに応じた除排雪を行う取り組みを全市へ拡大します

平成17年度 (13カ所のモデル地区を設置)

「中央区宮の森東町内会」の取り組み内容

- ・除雪の出動基準を10センチ⇒15センチに変更し、節約した費用で交差点などの排雪を実施
- ・雪解け後の清掃など、地域でルールを決めた上で、雪置き場として公園を利用
- ・除排雪作業の邪魔になる違法駐車への対策を強化

交差点から運んだ雪を公園に排雪する様子



平成18年度

(モデル地区を100カ所へ大幅拡大)

各区の土木センターに、この取り組みを担当する係長を新たに配置。地域住民が納得のいく除排雪体制を目指します

キーワード

障がい者支援

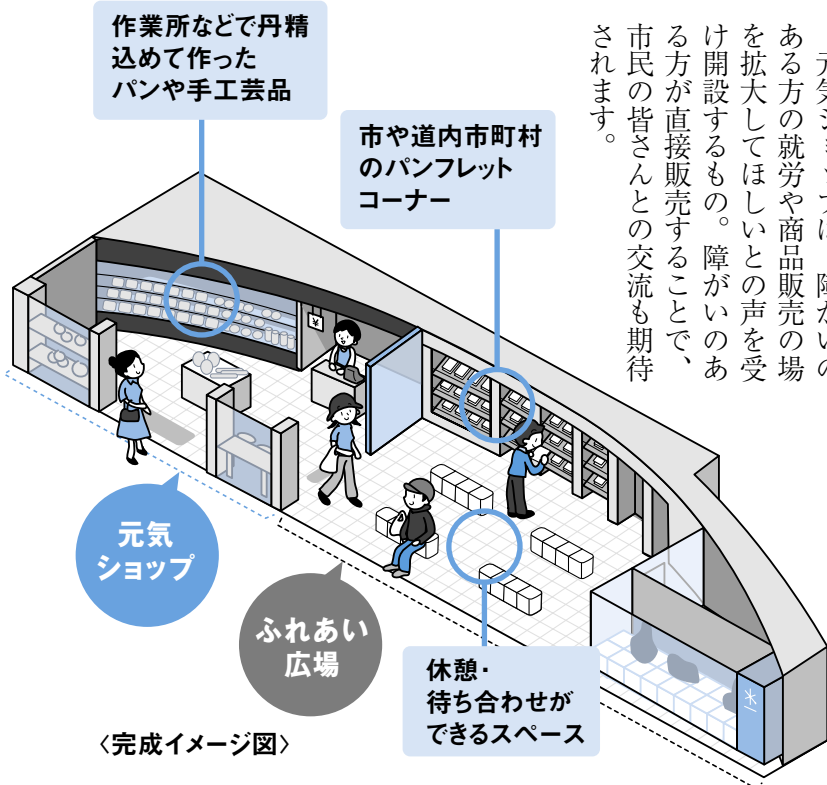
元気ショップ
開設工事が始まる
障がいのある方が製作した商品を販売

七月から、障がいのある方が作業所などで製作した商品を販売する「元気ショップ」の設置工事を開始します。開設場所は、地下鉄大通駅定期券売り場横で、市政パンフレットコーナーのある「ふれあい広場」と一体で改修し、両者の利便性向上を図ります。

元気ショップは、障がいのある方の就労や商品販売の場を拡大してほしいとの声を受け開設するもの。障がいのある方が直接販売することで、市民の皆さんとの交流も期待されます。

完成は十月を予定。期間中は、隣接するふれあい広場は利用できませんので、ご理解をお願いします。

【詳細】元気ショップについては障がい福祉課☎(21)2936、ふれあい広場については広報課☎(21)2036



〈完成イメージ図〉